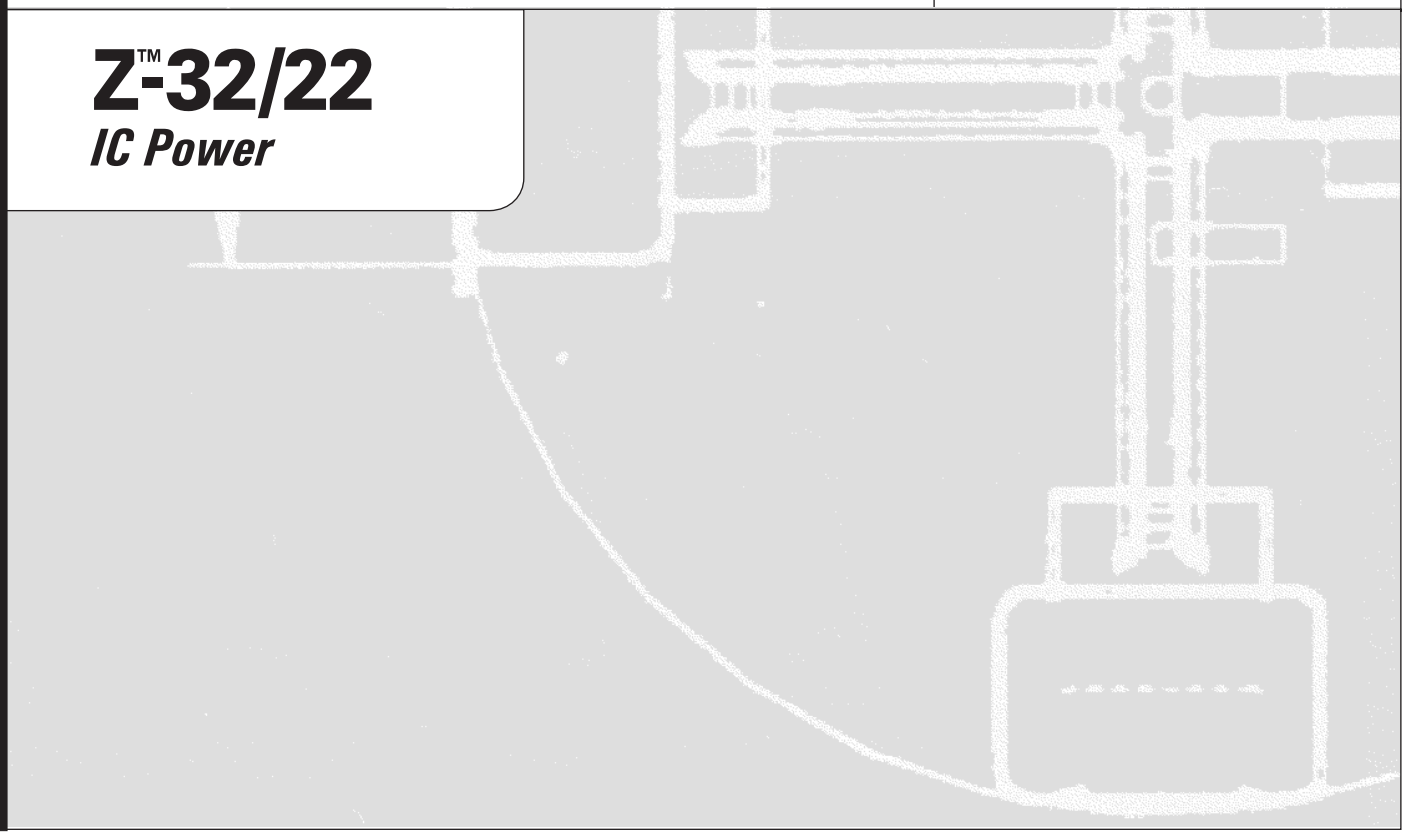
Genie®

操作説明書
メンテナンス情報付属

Fourth Edition
First Printing
Part No. 114375JA

Z™-32/22
IC Power



重要

本機械を操作する前に、操作説明書の安全規則と操作指示をよく読み、理解し、従ってください。 トレーニングを受け認定された担当者のみ機械を操作することが許されています。 本説明書は機械の一部とみなされ、常に機械と一緒に置かれていなければなりません。 質問がございましたら Genie Industries までご連絡ください。

目次

ページ

安全規則 1
操作 8
説明 10
操作前の点検 11
メンテナンス 13
機能テスト 16
作業場の点検 21
操作手順 22
ステッカー 28
輸送およびリフトの手順 32
仕様 35

お問合せ先：

インターネット： http://www.genielift.com
電子メール： techpub@genieind.com

Copyright © 1996 Genie Industries

初版： 第 2 刷 1996 年11月

第 2 版： 第 6 刷 2002 年 9 月

第 3 版： 初刷 2003 年 6 月

第 4 版： 初刷 2005 年 10 月

「Genie」および「Z」は米国およびその他の国における Genie Industries の登録商標です。

♻ 再生紙使用 L

Printed in U.S.A.

安全規則



危険

本説明書の操作指示と安全規則に従わない場合は、重傷または死に至ることがあります。

操作を行う必須条件：

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施する。

1 危険な状態での使用を避ける。

次のセクションに進む前に、安全規則を理解し、心得てください。

2 常に操作前の点検を行う。

3 使用する前に常に機能テストを行う。

4 作業場を点検する。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

☑ 使用説明書と安全規則 - 安全マニュアルおよび操作説明書と機械ステッカーをよく読み、理解し、それに従う。

☑ 従業員の安全規則と作業場所の規則をよく読み、理解し、それに従う。

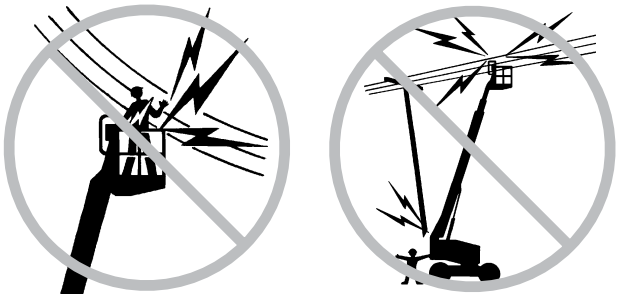
☑ 適合するすべての法規をよく読み、理解し、それに従う。

☑ 使用者が安全な機械操作のための適切なトレーニングを受けている。

安全規則

感電の危険

この機械は絶縁されておらず、電流に接触した場合や近づいた場合は電流から保護されません。



適合する法規および次の表に従って、電線や電気装置から安全な距離を保ってください。

電圧 範囲	安全上の 最短距離 メートル
0～300V	接触を避ける
300V～50KV	3.05
50KV～200KV	4.60
200KV～350KV	6.10
350KV～500KV	7.62
500KV～750KV	10.67
750KV～1000KV	13.72

作業台の動きや電線の揺れやたるみを考慮し、強風および突風に注意してください。

機械が通電している電線に接触している場合は、機械に近づかないでください。 地上もしくは作業台の従業員は、電線の電気が止められるまで絶対に機械に触れたり操作したりしないでください。

雷や暴風のときは機械を操作しないでください。

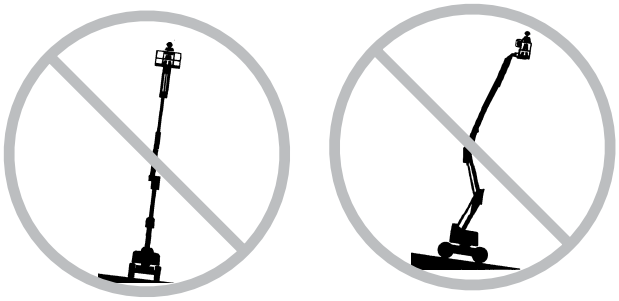
溶接するときに機械をアースとして使用しないでください。

転倒の危険

作業員、装備、および機材の重量は、作業台最大積載荷重量を超えてはなりません。

作業台最大積載荷重量	227 kg
最大作業員数	2

パイプクレードル、パネルクレードル、溶接機などのオプションや付属品の重量は、定格作業台最大積載荷重量に含まれるため、作業台に載せることのできる積荷の合計荷重量が減少します。 これらのオプションに関しては、ステッカーを参照してください。



機械を固い水平な地面に設置している場合以外は、ブームを上昇もしくは伸長しないでください。

傾斜アラームを傾斜の指標として使用しないでください。 傾斜アラームは、機械が急な斜面にある場合にのみ作業台内で鳴ります。

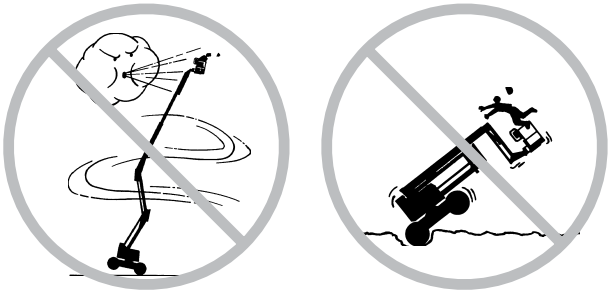
傾斜アラームが鳴なった場合：
ブームを水平より高く伸長、旋回、あるいは上昇させないでください。 作業台を上昇する前に、機械をしっかりとした水平な地面に移動してください。 作業台が上がっている状態で傾斜アラームが鳴った場合、細心の注意をはらってブームを収縮し、作業台を下げてください。 下降中は、ブームを旋回しないでください。 作業台を上昇する前に、機械を固い水平な地面に移動してください。

リミットスイッチを改造したり、使用不能にしたりしないでください。

主要ブームが上がっているか伸長している状態、あるいは補助ブームが上がっている状態では、時速1 km以上で走行しないで下さい。

風速が秒速12.5 m を超える場合はブームを上げないでください。 秒速12.5 m 以上の風速のもとでブームを上げている場合は、ブームを下げ、機械の操作を中止してください。

強風や突風の状況で機械を操作しないでください。 作業台や積荷の表面積を大きくしないでください。 風にあたる面積が増えるにつれて機械の安定性が低下します。



収納した状態で、平らでない、障害物のある、不安定な場所、また滑りやすい場所を通って機械を走行しているとき、あるいはくぼみや急に低くなっている近辺で機械を走行しているときは、細心の注意をはらうとともに、機械を減速してください。

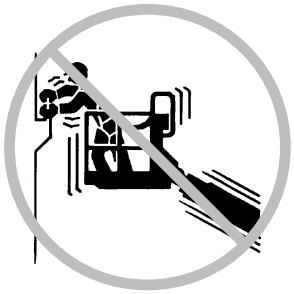
水平でない不安定な地面、あるいは他のブームを上昇または伸長するには危険な状況、またはその近辺では、機械を走行しないでください。

機械の定格勾配を超える上り傾斜、下り傾斜、および横傾斜では、機械を走行しないでください。 定格勾配は、機械が収納されている状態のものです。

最大定格勾配, 収納状態、2WD		
カウンターウェイト 上り勾配	37%	20°
カウンターウェイト 下り勾配	20%	11°
横勾配	25%	14°
最大定格勾配, 収納状態、4WD		
カウンターウェイト 上り勾配	45%	24°
カウンターウェイト 下り勾配	40%	22°
横勾配	25%	14°

注記： 定格勾配は、地面の状態とトラクションにより異なります。

作業台の外側の物体を押したり、引っ張ったりしないでください。



最大側方圧 - ANSI & CSA
667 N

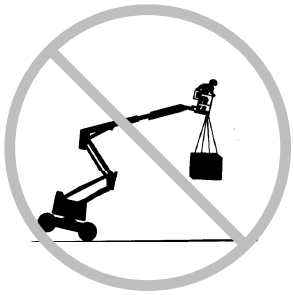
最大側方圧- CE
400 N

機械の部品を改造したり、使用不能にしたりしないでください。 機械の安全性と安定性に影響します。

機械の安定性に影響する部品を、重量や仕様の異なるものと取り替えないでください。

安全規則

機械から荷物をぶら下げたり、取り付けたりしないでください。





作業台にはしごや足場を組まないでください。また本機械のどの部分にも立てかけないでください。

工具や機材を運ぶ場合は、作業台に均等に配置し、作業員が作業台で安全に使用できるようにしてください。

移動中または移動する可能性のある地面、もしくは車両上で機械を使用しないでください。

製造元の書面による事前の許可なしに、高所作業台を変更したり改造したりしないでください。工具や他の機材を収納するためのアタッチメントを作業台、踏み板、もしくは手摺りに取り付けると、作業台の重量や作業台や積荷の表面積を増大させます。

タイヤの状態がすべて良好であり、タイヤに適切に空気が入れられていること、およびラグナットが適切に締められていることを確認してください。

機械をクレーンとして使用しないでください。

機械や他の物体をブームで押さないでください。

ブームを近辺の建造物に接触させないでください。

ブームや作業台を近辺の建造物につながないでください。

作業台の周囲から荷物が突き出ないようにしてください。

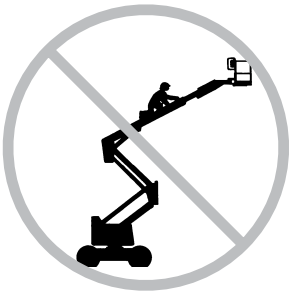
落下の危険



作業員は安全ベルトやハーネスを着用し、適合する法規に従わなければなりません。 安全帯を作業台の錨に取り付けてください。

作業台の手摺りに座ったり、立ったり、上ったりしないでください。 作業台の上では常にしっかりとした足場を確保してください。



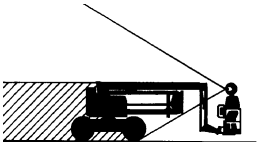


作業台が上がっている状態で、作業台から降りないでください。

作業台の床面は、常にきれいにしておいてください。

操作前に、作業台出入口中間レールを下げるか、もしくは出入口ゲートを閉めてください。

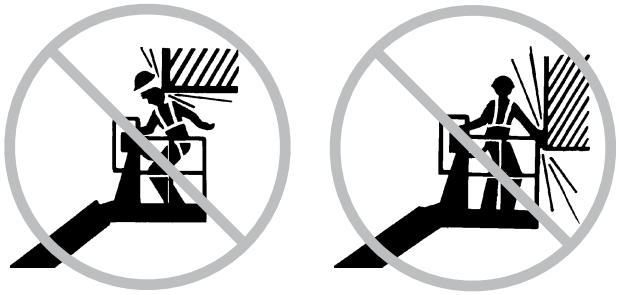
衝突の危険



走行または操作中は、視界の限度および死角に注意してください。

ターンテーブルを旋回しているときは、ブームの位置に注意してください。

作業場において、頭上に障害物もしくは他に危険なものがないことを確認してください。



作業台の手摺りにつかまっているときは、手にケガをしないよう注意してください。

作業員は、安全装備の使用に関して、従業員規則、作業現場の規則、および法規に従わなければなりません。

走行やステアリング機能を使用する際は、作業台操作および走行シャーシの色別された方向矢印を確認しながら操作を行ってください。

ブームを下げる場合は、下に人がいないこと、および障害物になるものがないことを確かめてください。



地面の状態、まわりの混雑具合、傾斜、他の作業員の位置、およびその他追突の要因となるものによって、走行速度を制限してください。

クレーンの軌道上においては、クレーンの制御がロックされ、さらに衝突を防ぐための予防措置がとられていない限り、ブームを操作しないでください。

機械の操作時は、無謀な走行をしたり、むやみに騒いだりしないでください。

部品損傷の危険

ブースターケーブルを使ってエンジンを始動するには、12 ボルトより高いバッテリーもしくは充電器を使用しないでください。

溶接するときに機械をアースとして使用しないでください。

安全規則

爆発と火災の危険

LPガス、ガソリン、ディーゼル、または他の爆発性物質の臭いがする場合、もしくはそれらを検知した場合は、エンジンを始動しないでください。

エンジンが作動している状態で、燃料を補給しないでください。

燃料の補給とバッテリーの充電は、火花、炎、または火のついたタバコのない、広く換気された場所で行ってください。

危険な場所、可燃性の高い場所、あるいは爆発性のガスもしくは微粒子が存在する場所では、機械を操作しないでください。

グロープラグを搭載したエンジンにエーテルのスプレーをかけないでください。

機械故障の危険

損傷もしくは故障している機械は使用しないでください。

作業シフトを始める前に、機械の操作前の点検を完全に行い、すべての機能をテストしてください。 損傷もしくは故障している機械は、直ちに故障の貼り紙を付けて作業を中止してください。

本説明書とサービスマニュアルに記載されているすべてのメンテナンスを必ず行ってください。

すべてのステッカーが適切な位置にあり、文字が読める状態であることを確認してください。

オペレータの安全と責任に関するマニュアルが完備され、文字が読める状態で、作業台の保管場所に保管されていることを確認してください。

人体への傷害の危険

作動油や空気が漏れている状態で機械を操作しないでください。 空気や作動油が漏れると、皮膚に飛び散ったり、やけどを負う原因となります。

一酸化炭素中毒を避けるため、よく換気された場所で常に機械を操作してください。

カバーされている部品に不適切に触れると重傷を負うことがあります。 適切なトレーニングを受けたメンテナンス担当者以外、これらのコンパートメントへの作業を行わないでください。 オペレータは、これらのコンパートメントについては作業前の点検だけを行ってください。 機械の操作中は、すべてのコンパートメントがしっかりと閉じられていなければなりません。

バッテリーの安全管理

熱傷の危険

バッテリーには、酸が含まれます。 バッテリーに作業を行うときは、常に保護服と保護メガネを着用してください。

バッテリーの酸をこぼしたり酸に触れたりしないようにしてください。 バッテリー液がこぼれた場合は重曹と水を使って中和してください。

爆発の危険

火花、炎、火のついたタバコなどをバッテリーに近づけないでください。 バッテリーは爆発性ガスを放出します。

感電の危険

電気端子に触らないでください。

ステッカーの説明

Genie 製品ステッカーは、識別しやすいよう、下記のようなシンボル、色別コード、および警報言語を使用しています。



安全警報シンボル - 作業員にケガの危険があることを示します。 ケガや死亡の危険を避けるために、このシンボルのあとの安全警告に従ってください。

⚠DANGER

赤 - 差し迫った危険があることを示します。 この危険を回避しない場合は重傷または死に至ることがあります。

⚠WARNING

オレンジ - 危険な状況になる可能性があることを示します。 この危険を回避しない場合は重傷または死に至ることがあります。

⚠CAUTION

警告シンボルを伴った黄色 - 危険な状況になる可能性があることを示します。 この危険を回避しない場合は小さなケガから中程度のケガを負うことがあります。

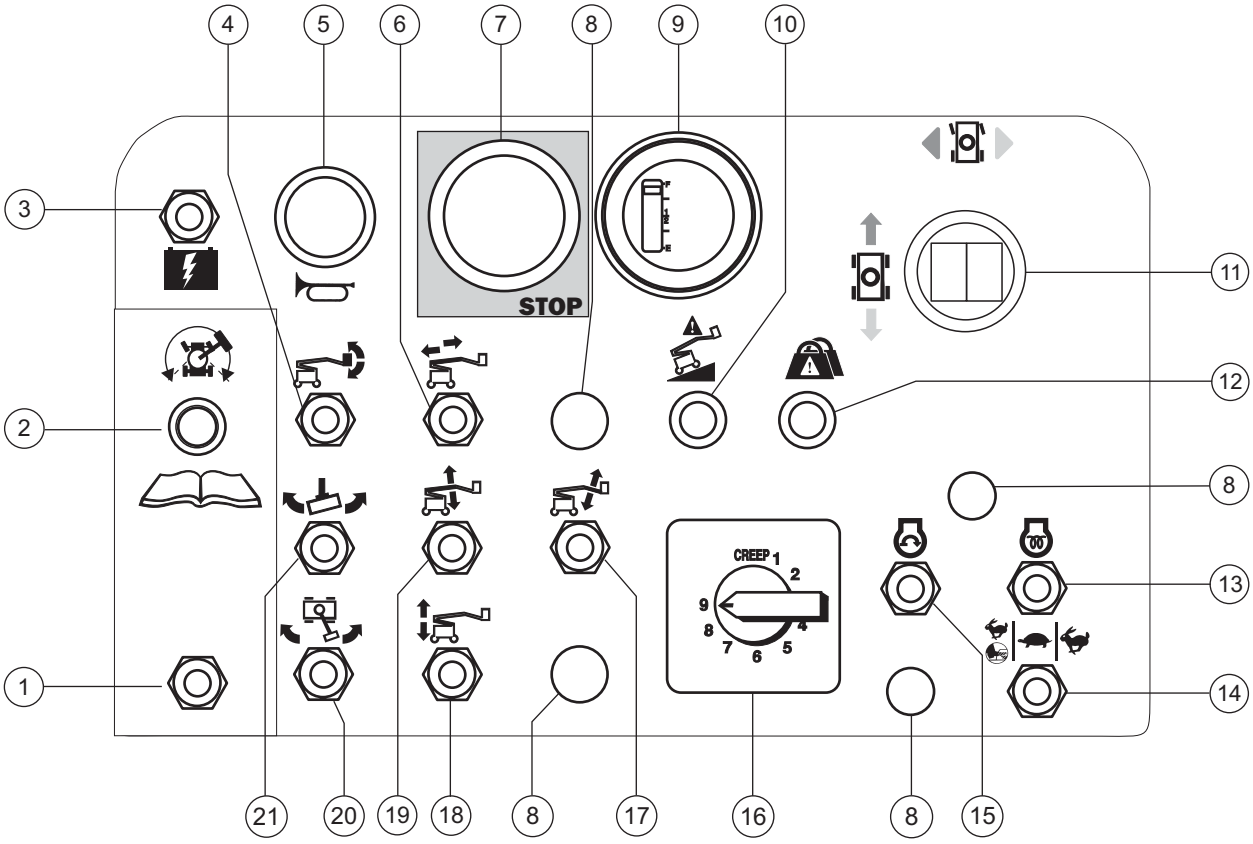
CAUTION

警告シンボルなしの黄色 - 危険な状況になる可能性があることを示します。 この危険を回避しない場合は機械が故障することがあります。

NOTICE

緑 - 操作方法やメンテナンスに関する情報を示します。

操作

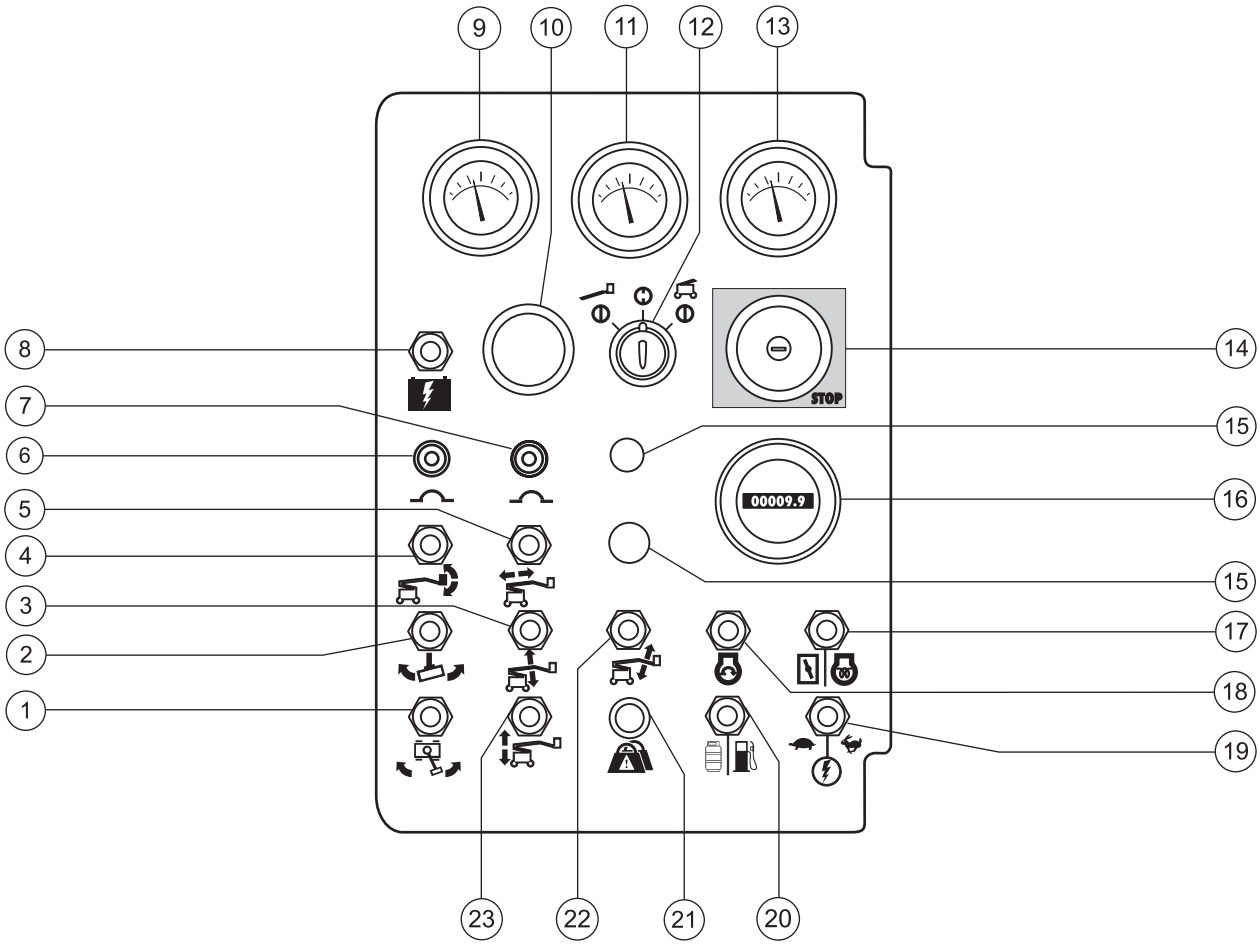


作業台操作パネル

1 走行機能スイッチ
2 走行機能表示ランプ
3 補助動力スイッチ
4 作業台レベルスイッチ
5 ホーンボタン
6 主要ブーム延長/収縮スイッチ
7 赤色非常停止ボタン
8 非使用
9 バッテリー充電表示器 (オプション)
10 傾斜表示ランプ (搭載する場合)
11 走行機能用比例コントロールハンドルとステアリング機能用ロッカー
12 作業台過負荷表示ランプ (搭載する場合)
13 走行速度セレクトスイッチ
14 ガソリン/LPGガスモデル: チョークスイッチ
ディーゼルモデル: グロープラグスイッチ (オプション)
15 エンジンアイドリング (rpm) 選択スイッチ
- ウサギとペダルシンボル: ペダルスイッチによる高アイドリング開始
- カメシンボル: 低アイドリング
- ウサギシンボル: 高アイドリング

16 エンジン始動スイッチ
17 ガソリン/LPGガス モデル: ガソリン/LPG セレクトスイッチ
18 ブーム機能速度コントローラー
19 ジブブーム上昇/下降スイッチ
20 補助ブーム上昇/下降スイッチ
21 主要ブーム上昇/下降スイッチ
22 ターンテーブル旋回スイッチ
23 作業台回転スイッチ

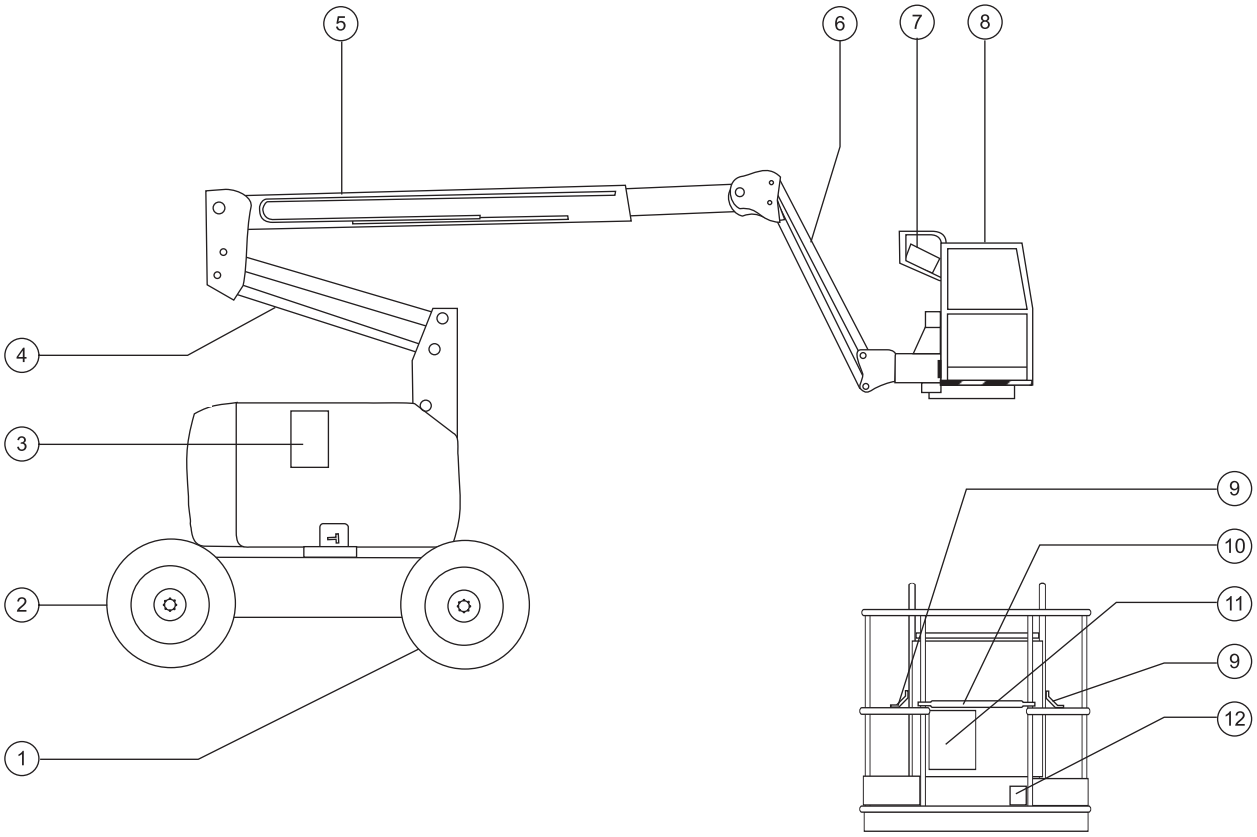
操作



地上操作パネル

1 ターンテーブル旋回スイッチ
2 作業台回転スイッチ
3 主要ブーム上昇/下降スイッチ
4 作業台レベルスイッチ
5 主要ブーム延長/収縮スイッチ
6 エンジン電気回路用 10A ブレーカー
7 制御電気回路用 10A ブレーカー
8 補助動力スイッチ
9 ガソリン/LPGガス モデル: 水温計
ディーゼルモデル: 油温計
10 移動アラーム
11 油圧計
12 作業台/オフ/地上 セレクトキースイッチ
13 電圧計
14 赤色非常停止ボタン
15 非使用
16 時間計
17 ガソリン/LPGガスモデル: チョークスイッチ
ディーゼルモデル: グロープラグスイッチ (オプション)
18 エンジン始動スイッチ
19 機能作動スイッチ
20 ガソリン/LPGガスモデル: 燃料セレクトスイッチ
21 作業台過負荷表示ランプ (搭載する場合)
22 ジブブーム上昇/下降スイッチ
23 主要ブーム延長/収縮スイッチ

説明



1 非ステアリングタイヤ
2 ステアリングタイヤ
3 地上操作
4 補助ブーム
5 主要ブーム
6 ジブブーム
7 作業台操作
8 作業台
9 安全帯固定箇所
10 スライド式中間レール
11 マニュアル保管コンテナ
12 ペダルスイッチ

操作前の点検



操作を行う必須条件：

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施する。

1 危険な状態での使用を避ける。

2 常に操作前の点検を行う。

次のセクションに進む前に、操作前の点検についてよく理解してください。

3 使用する前に常に機能テストを行う。

4 作業場を点検する。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

原則

操作前の点検と規定メンテナンスはオペレータが責任をもって行ってください。

操作前の点検とは、各シフトの前にオペレータが目で見て行う点検です。 この点検は、オペレータが機能テストを行う前に、目で点検して異常な箇所を見つけることを目的としています。

さらに操作前の点検によって、規定メンテナンスが必要かどうかを判断します。 オペレータは、本説明書に記載してあるメンテナンス項目のみ行なってください。

次のページのリストを参照し、それぞれの項目をチェックしてください。

損傷もしくは工場出荷時の状態から何らかの許可されていない改造が発見されたら、機械に故障中の貼り紙をつけて使用を停止してください。

機械の修理は、認定を受けたサービス担当者のみが製品仕様に基づいて行ってください。 修理が終了したら、オペレータは機能テストに移る前に再度操作前の点検を行ってください。

定期保守点検は、認定を受けたサービス担当者が製品仕様と責務マニュアルに記載されている要項に基づいて行ってください。

操作前の点検

操作前の点検

- ❏ オペレータの安全と責任に関するマニュアルが完備され、文字が読める状態で、作業台の保管場所に保管されていることを確認してください。
- ❏ すべてのステッカーの文字が読める状態で所定の位置にあることを確認します。「ステッカー」のセクションを参照してください。
- ❏ エンジンオイルの漏れがないこと、適切な量であることをチェックします。 必要に応じてオイルを足してください。「メンテナンス」のセクションを参照してください。
- ❏ エンジン冷却液の漏れがないこと、適切な量であることをチェックします。 必要に応じて冷却液を足してください。「メンテナンス」のセクションを参照してください。
- ❏ 作動油の漏れがないこと、適切な量であることをチェックします。 必要に応じてオイルを足してください。「メンテナンス」のセクションを参照してください。
- ❏ バッテリー液の漏れがないこと、適切な量であることをチェックします。 必要に応じて蒸留水を足してください。「メンテナンス」のセクションを参照してください。
- ❏ タイヤの空気圧が適切であることをチェックします。 必要に応じて空気を足してください。「メンテナンス」のセクションを参照してください。

以下の部品もしくは部分が損傷していたり、不正に変更されていないか、きちんと設置されていなかったり、なくなっている部品がないかチェックします。

- ❏ 電気部品、配線、電気ケーブル
- ❏ 油圧ユニット、容器、ホース、フィッティング、シリンダー、マニフォールド
- ❏ 発電機、ベルトおよび関連部品
- ❏ 燃料と油圧タンク
- ❏ 走行とターンテーブルのモータ、およびトルクハブ
- ❏ ブーム磨耗板
- ❏ タイヤとホイール
- ❏ エンジンと関連部品
- ❏ リミットスイッチ
- ❏ ナット、ボルト、他の締め具
- ❏ 作業台出入口中間レールまたはゲート
- ❏ ビーコンとアラーム (搭載する場合)

機械全体をとおして下記をチェックします :

- ❏ 溶接や機械部品の割れ
- ❏ 機械のへこみや損傷

- ❏ 機械のすべての部品が欠けておらず、適合するファスナーやピンが正しい位置にしっかりと締められた状態にあることを確認します。
- ❏ 点検が終了したら、コンパートメントのすべてのカバーがすべてしっかりと閉められ、ラッチで留められていることを確認します。

メンテナンス



必ず従うこと：

☑ オペレータは、本説明書に記載してある規定メンテナンス項目のみを行います。

☑ 定期保守点検は、認定されているサービス担当者が製品仕様と責務マニュアルに記載している要項に基づいて行ってください。

メンテナンス記号の説明

注意 以下のシンボルは、指示の目的をわかりやすくするために使用されています。 メンテナンス手順の最初に記載されているシンボルは、次を意味しています。



この手順を行うために、工具が必要です。



この手順を行うために、新たな部品が必要です。

作動油量の点検



作動油量を適切に維持しておくことは機械操作にとって非常に重要です。 作動油量が適切でない場合、油圧部品に損傷を与えることがあります。 点検担当者は作動油量を毎日チェックすることにより、作動油量に変化がある場合には油圧システムでの問題を早期に見つけることができます。

1 ブームが収納位置にあることを確認します。

2 油圧タンク側面にある表示計を目視点検します。

⊙ 結果：作動油の量は、油圧タンクの FULL (満タン) と ADD (追加) のマークの間を指している必要があります。

3 必要に応じてオイルを追加します。

作動油の仕様

作動油タイプ	Chevron Rykon Premium MV に相当

エンジン冷却液の量の点検



エンジン冷却液の量を適切に維持しておくことはエンジンを長持ちさせるために非常に重要です。冷却液の量が不適切な場合、エンジンの冷却能力に影響し、エンジンの部品が損傷するおそれがあります。 点検担当者は冷却液の量を毎日チェックすることにより、冷却液の量の変化がある場合には、冷却システムでの問題を早期に見つけることができます。

1 冷却液回収タンク内の液量をチェックします。

⊙ 結果： 液の量は、NORMAL (標準) マークを指している必要があります。

2 必要に応じて冷却液を追加します。

メンテナンス

エンジンオイル量の点検

エンジンを高性能に保ち、耐用年数を長く保つために、エンジンオイルの量を適切に維持しておくことはきわめて重要です。 不適切なオイル量で機械を操作すると、エンジンの部品が損傷するおそれがあります。

注意 オイル量のチェックはエンジンを止めた状態で行ってください。

1 オイル計量棒をチェックします。 必要に応じてオイルを足してください。

クボタ DF-752-E2 エンジン	
オイルタイプ	10W-30
クボタ D-905 B-22 エンジン	
オイルタイプ	10W-30
Perkins 404C-11 エンジン	
オイルタイプ	15W-40

バッテリーの点検

エンジンの性能を保ち機械を安全に操作するには、バッテリーが適切な状態であることが重要です。 液量が適切でなかったり、ケーブルまたは接続が損傷していると、エンジン部品の故障につながり危険な状態を招くおそれがあります。

⚠ 警告 人体への傷害の危険：バッテリーには酸が入っています。 バッテリーの酸をこぼしたり酸に触れたりしないようにしてください。 バッテリー液がこぼれた場合は重曹と水を使って中和してください。

1 保護服と保護メガネを着用してください。

2 バッテリーケーブルがしっかりと接続され、腐食していないことを確認します。

3 バッテリー固定ブラケットがしっかりと締められていることを確認します。

4 バッテリー通気孔のキャップをとります。

5 バッテリーの酸の量を確認します。 必要に応じてバッテリーチューブの底に蒸留水を補給します。 このときに溢れないようにしてください。

6 バッテリー通気孔のキャップを取り付け直します。

タイヤ空気圧の点検

注意 この手順は、オプションのフォームタイヤを装備している機械では必要ありません。

⚠ 警告 人体への傷害の危険：タイヤの空気圧を高くしすぎると破裂するおそれがあり、重傷を負ったり死に至る場合があります。

⚠ 警告 転倒の危険：パンクしたタイヤを一時的に修理する製品は使用しないでください。

機械の安定性を保ち、最適な条件のもとで機械を使用し、タイヤの消耗を最小限に抑えるためには、すべてのタイヤの空気圧を適切に保持することが大切です。

1 各タイヤを空気圧計でチェックして、必要に応じて空気を足してください。

タイヤ空気圧	
工業用タイヤ	6.89 バール
不整地用タイヤ	3.1 バール
ハイフロテーションタイヤ	3.0 バール

定期保守点検

四半期ごと、1 年ごと、2 年ごとに行われる保守点検は、本装置のメンテナンストレーニングを受け認定されている担当者が、本装置のサービスマニュアルの手順に従って行わなければなりません。

3 ヶ月以上使用されていない機械は、再び使用する前に必ず四半期点検を行う必要があります。

機能テスト



操作を行う必須条件：

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施する。

1 危険な状態での使用を避ける。

2 常に操作前の点検を行う。

3 使用する前に常に機能テストを行う。

次のセクションに進む前に、機能テストについてよく理解してください。

4 作業場を点検する。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

原則

機能テストは、機械を使用する前に故障を見つけることを目的としています。 オペレータは、指示された手順に従って、すべての機能をテストしてください。

故障している機械は決して使用しないでください。 故障が見つかった場合は、故障の貼り紙を付けて作業を中止してください。 機械の修理は、認定を受けたサービス担当者のみが製品仕様に基づいて行ってください。

修理が終了したら、オペレータは機械を使用する前に、再び操作前の点検、続いて機能テストを行ってください。

1 テストを行う場所として、障害物がなく、安定した平ら場所を選びます。

地上操作

2 キースイッチを回して地上操作に切り替えます。

3 赤色非常停止ボタンを引いてオンにします。

⊙ 結果：ビーコンが点滅します (搭載する場合)。

4 エンジンを始動させます。「操作手順」のセクションを参照してください。

非常停止のテスト

5 赤色非常停止ボタンを押してオフの位置にします。

⊙ 結果：エンジンが止まり、機能がなにも作動しません。

6 地上操作の赤色非常停止ボタンを引いてオンの位置にして、エンジンを再始動します。

機械機能のテスト

7 機能作動スイッチを、どちら側にもしないでください。 ブームと作業台の各機能トグルスイッチの作動を試します。



⊙ 結果：ブームと作業台の機能がなにも作動しません。

8 機能作動スイッチをどちらか一方の側に押したまま、ブームと作業台の各機能トグルスイッチの作動を試します。

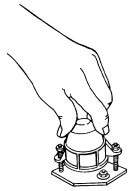
⊙ 結果：ブームと作業台のすべての機能がフルサイクル作動します。 ブームが下降しているときには下降アラームが鳴ります (搭載する場合)。

傾斜センサーのテスト

9 作業台の赤色非常停止ボタンを引いてオンにします。 キースイッチを回して作業台操作に切り替えます。

10 地上操作側のターンテーブルカバーを開いて、傾斜センサーを見つけてください。

11 傾斜センサーの片側を下に押します。



⊙ 結果：作業台のアラームが鳴ります。

補助制御のテスト

12 キースイッチを回して地上操作にし、エンジンを停止します。

13 赤色非常停止ボタンを引いてオンにします。

14 同時に補助動力スイッチをオンにしたまま、各ブーム機能トグルスイッチを作動させます。



注記：バッテリーの消耗を防ぐため、各機能を部分的なサイクルでテストしてください。

⊙ 結果：すべてのブーム機能が作動します。

機能テスト

作業台操作

非常停止のテスト

15 キースイッチを回して作業台操作に切り替えて、エンジンを再始動します。

16 作業台の赤色非常停止ボタンを押してオフにします。

⊙ 結果：エンジンが止まり、機能がなにも作動しません。

17 赤色非常停止ボタンを引いてエンジンを再始動します。

警報のテスト

18 警報ボタンを押します。

⊙ 結果：警報が鳴ります。

ペダルスイッチのテスト

19 作業台の赤色非常停止ボタンを押してオフにします。

20 地上操作の赤色非常停止ボタンを引いてオンにします。エンジンは始動しないでください。

21 ペダルスイッチを踏み、始動トグルスイッチをどちらか片側に動かして、エンジンが始動するか試します。

⊙ 結果：エンジンは 始動しません。

22 ペダルスイッチを踏まずにエンジンを始動します。

23 ペダルスイッチを踏まないでください。 機械の各機能をテストしてください。

⊙ 結果：機械機能は作動しません。

機械機能のテスト

24 ペダルスイッチを踏みます。

25 各機械機能コントロールハンドルもしくはトグルスイッチを作動します。

⊙ 結果：ブームと作業台のすべての機能がフルサイクル作動します。

注記：ブーム機能速度コントローラーを調節して、ブーム機能の速度を制御できます。 走行およびステアリング機能は、ブーム機能速度コントローラーに影響されません。

ステアリングのテスト

26 ペダルスイッチを踏みます。

27 走行コントロールハンドルの先端にあるロッカースイッチを、操作パネルの青い三角の示す方向に押し下げます。

⊙ 結果：ステアリングホイールが走行シャーシ上の青い三角が示す方向に回ります。

28 ロッカースイッチを、操作パネルの黄色い三角の示す方向に押し下げます。

⊙ 結果：ステアリングホイールが走行シャーシ上の黄色い三角が示す方向に回ります。

走行とブレーキのテスト

29 ペダルスイッチを踏みます。

30 走行コントロールハンドルを操作パネルの青い矢印の方向に機械が動き始めるまでゆっくりと動かしたあと、ハンドルを中央位置まで戻します。

⊙ 結果：移動アラームが鳴ります。 機械が走行シャーシの青い矢印の方向に動き、急停止します。

31 走行コントロールハンドルを操作パネルの黄色い矢印の方向に機械が動き始めるまでゆっくりと動かしたあと、ハンドルを中央位置まで戻します。

⊙ 結果：移動アラームが鳴ります。 機械が走行シャーシの黄色い矢印の方向に動き、急停止します。

注記：ブレーキは、機械が登ることのできるすべての斜面上で機械を止める能力を持っている必要があります。

走行機能システムのテスト

32 ペダルスイッチを踏みます。

33 主要ブームを収納位置まで収縮します。

34 ブームが非ステアリングタイヤのひとつを超えるまで、ターンテーブルを旋回します。

⊙ 結果：走行機能表示ランプが点灯し、ブームが示された範囲にある間点灯し続けます。



35 走行コントロールハンドルを中心の位置から動かします。

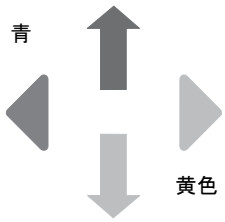
⊙ 結果： 走行機能は作動しません。

36 走行機能トグルスイッチを上か下に動かしてそのままにし、走行コントロールハンドルをゆっくりと中心の位置から動かします。

⊙ 結果：走行機能が作動します。

注記：走行機能システムを使用の際、走行とステアリングのコントロールハンドルを動かした方向と反対の方向に機械が動くことがあります。

作業台操作と走行シャーシにある色別された方向矢印で進む方向を確認してください。



機能テスト

走行制限速度のテスト

37 ペダルスイッチを踏みます。

38 主要ブームを 30 cm 上げます。

39 走行コントロールハンドルをゆっくりとフル走行の位置に動かします。

⊙ 結果： 主要ブームが上昇した状態での最大走行速度は 30 cm/秒を越えてはいけません。

40 ブームを下ろし収納します。

41 補助ブームを 30 cm 上げます。

42 走行コントロールハンドルをゆっくりとフル走行の位置に動かします。

⊙ 結果： 補助ブームが上昇した状態での最大走行速度は 30 cm/秒を越えてはいけません。

43 ブームを下ろし収納します。

44 主要ブームを 30 cm 伸長します。

45 走行コントロールハンドルをゆっくりとフル走行の位置に動かします。

⊙ 結果：主要ブームを伸長した状態での最大走行速度は 30 cm/秒を越えてはいけません。

主要ブームが上昇あるいは伸長した状態、あるいは補助ブームが上昇した状態で走行速度が 30 cm/秒を超えた場合、直ちに故障中の貼り紙をつけて機械の使用を中止してください。

補助制御のテスト

46 エンジンを停止します。

47 赤色非常停止ボタンを引いてオンにします。

48 ペダルスイッチを踏みます。

49 補助動力スイッチをオンにしたまま、各機能コントロールハンドルあるいはトグルスイッチの作動を試します。

注記：バッテリーの消耗を防ぐため、各機能を部分的なサイクルでテストしてください。

⊙ 結果：すべてのブームおよびステアリング機能が作動します。 走行機能は補助動力では作動しません。

リフト/走行 選択機能のテスト (搭載する場合)

50 ペダルスイッチを踏みます。

51 走行コントロールハンドルを中心の位置から動かし、ブーム機能トグルスイッチを作動させます。

⊙ 結果：ブーム機能はなにも作動しません。機械は、操作パネル上で示した方向に動きます。

作業場の点検



操作を行う必須条件：

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施する。

1 危険な状態での使用を避ける。

2 常に操作前の点検を行う。

3 使用する前に常に機能テストを行う。

4 作業場を点検する。

次のセクションに進む前に、作業場の点検についてよく理解してください。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

原則

作業場を点検することによって、オペレータは作業場が安全に機械を操作するのに適しているかどうかを判断することができます。 オペレータは、作業場に機械を移動する前に作業場の点検を行わなければなりません。

オペレータは作業場で起こりうる危険を心得た上で、機械の移動、セットアップ、運転時に注意を払い、危険を避けてください。

作業場の点検

次の危険な状態に注意し、避けてください：

- 急に低くなっているところ、くぼみ
- でこぼこした道、床の障害物もしくは破片
- 傾斜面
- 不安定な地面、滑りやすい地面
- 頭上の障害物、高圧送電線
- 危険な場所
- 機械の重量に耐えられない地面
- 風や天候の状態
- 関係作業員以外の人の存在
- その他、起こる可能性のある危険な状態

操作手順



操作を行う必須条件：

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施する。

1 危険な状態での使用を避ける。

2 常に操作前の点検を行う。

3 使用する前に常に機能テストを行う。

4 作業場を点検する。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

原則

操作手順のセクションでは、機械操作の手順を機能ごとに説明しています。 安全規則やオペレータの安全および責務マニュアルの手順に従うことは、オペレータの任務です。

人を工具や機材とともに高所作業場まで上げる目的以外で、機械を使用することは危険です。

トレーニングを受け、認定された担当者のみ機械を操作することが許可されています。 複数のオペレータが同じ勤務時間内で異なる時間帯に機械を使用する場合、すべてのオペレータが資格を有し、安全規則、使用説明書、安全と責任に関するマニュアルの手順にすべて従わなければなりません。 すなわちオペレータが交替するたびに、次のオペレータが機械の操作前に、操作前点検、機能テスト、作業場点検を行う必要があります。

エンジンの始動

1 地上操作で、キースイッチを任意の方向に回します。

2 地上操作と作業台操作の両方の赤色非常停止ボタンが引かれ、オンの位置にあることを確認します。

3 ガソリン/LPGガス モデル： 燃料セレクトスイッチを任意の位置に動かして燃料を選択します。

4 エンジン始動トグルスイッチをどちらか一方に移動します。 エンジンが始動しない、あるいは停止した場合、再始動遅延機能によって 3 秒間始動できなくなります。



15 秒間のクランキングの後エンジンが始動しない場合、故障の原因を判別し、修理してください。 もう一度始動を試みる前に、60 秒間待ってください。

すべてのモデル：-6℃ 以下の極寒の状況では、油圧システム損傷を避けるためにエンジンを5分間温めます。

ガソリン/LPGガス モデル：-6℃ 以下の極寒の状況では、機械をまずガソリンで始動し、次にLPGに切り替えます。

非常停止

地上もしくは作業台操作の赤色非常停止ボタンを押してオフにし、すべての機能を停止してエンジンを切ります。

赤色非常停止ボタンが押されている状態で作動している機能は修理する必要があります。

地上操作を選択して操作すると、地上操作が優先されるため、作業台の赤色非常停止ボタンは使用できません。

補助制御

主要電源 (エンジン) が停止した場合、補助動力を使用してください。

1 キースイッチを回して地上もしくは作業台操作に切り替えます。

2 赤色非常停止ボタンを引いてオンにします。

3 作業台から補助制御を操作する場合は、ペダルスイッチを踏みます。

4 補助動力スイッチをオンにしたまま、必要な機能を作動します。



走行機能は、補助動力では作動しません。

地上からの操作

1 キースイッチを回して地上操作に切り替えます。

2 赤色非常停止ボタンを引いてオンにします。

3 ガソリン/LPGガス モデル： 燃料セレクトスイッチを任意の位置に動かして燃料を選択します。

4 エンジンを始動させます。

作業台を位置につける

1 機能作動スイッチを、どちらか一方に押したままにします。

2 操作パネルのマークに従って、適切なトグルスイッチを動かします。



走行とステアリング機能は地上操作から操作できません。

操作手順

作業台からの操作

1 キースイッチを回して作業台操作に切り替えます。

2 地上操作と作業台操作の両方の赤色非常停止ボタンを引いてオンにします。

3 ガソリン/LPGガス モデル： 燃料セレクトスイッチを任意の位置に動かして燃料を選択します。

4 エンジンを始動させます。 エンジンを始動する時は、ペダルスイッチを踏まないでください。

作業台を位置につける

1 ペダルスイッチを踏みます。

2 操作パネルのマークに従って、適切な機能コントロールハンドルもしくはトグルスイッチをゆっくりと動かします。

作業台水平制御解除機能を搭載する機械： 主要ブームが走行速度リミットスイッチを過ぎて上昇した場合は、作業台水平トグルスイッチは作動しません。

ステアリング

1 ペダルスイッチを踏みます。

2 ステアリングホイールを、走行コントロールハンドルの先端にあるロッカースイッチで回します。

作業台操作と走行シャーシの色別された三角方向マークを見ながら、タイヤの曲がる方向を確認してください。

走行

1 ペダルスイッチを踏みます。

2 速度を上げる：走行コントロールハンドルを中心の位置からゆっくりと動かします。

速度を下げる：走行コントロールハンドルを中心の位置に向かってゆっくりと動かします。

停止する： 走行コントロールハンドルを中心の位置へ戻すか、ペダルスイッチを解除します。

作業台操作と走行シャーシの色別された方向矢印で、機械の進む方向を確認してください。

ブームが上昇あるいは伸長した状態での走行速度は制限されています。

傾斜面における走行

機械に対する上り傾斜、下り傾斜、および横傾斜の定格勾配を確認し、傾斜勾配を判断します。



最大定格勾配、カウンターウェイト 上り勾配 (登坂能力) :
2WD: 37% (20°)
4WD: 45% (24°)



最大定格勾配、カウンターウェイト下り勾配 :
2WD: 20% (11°)
4WD: 40% (22°)



最大定格横勾配 :
25% (14°)

注記 : 定格勾配は、地面の状態とトラクションにより異なります。 登坂能力という用語は、カウンターウェイト上り勾配構成の場合にのみ適用されます。

ブームが水平より低く、作業台が非ステアリングタイヤの間にあることを確認します。

走行速度セレクトスイッチを機械傾斜シンボルの方向に動かします。

傾斜勾配の確認 :

デジタル傾斜計を使用するか、あるいは以下の手順で傾斜を測定します。

必要なもの :

レベル (水準器)

最低 1 m の長さの真っ直ぐな木片

巻尺

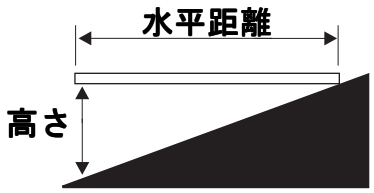
傾斜面の上に木片を置きます。

下り坂の下がった方の端で、木片の端に合わせてその上にレベル (水準器) を置いた後、木片が水平になるまで木片を持ち上げます。

木片を水平に保ちながら、木片の底部から地面までの距離を測ります。

巻尺で測った地面からの距離 (高さ) を木片の長さ (水平距離) で割り、その数値に100を掛けます。

例 :



木片 = 3.6 m

水平距離 = 3.6 m

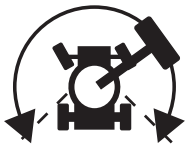
高さ = 0.3 m

0.3 m ÷ 3.6 m = 0.083 × 100 = 8.3% 勾配

上り/下り傾斜や横傾斜が最大定格勾配を超える場合は、機械をウィンチで巻き上げるか、もしくは輸送する必要があります。「輸送およびリフト」のセクションを参照してください。

操作手順

走行機能



表示ランプがオンになると、ブームが非ステアリングタイヤを超えて移動し、走行機能が妨げられたことを示します。

走行するには、走行機能スイッチをどちらか一方に動かしてそのままにし、走行コントロールハンドルをゆっくりと中心の位置から動かします。

走行とステアリングのコントロールハンドルを動かした方向と反対の方向に機械が動くことがあります。

必ず作業台操作と走行シャーシの色別された方向矢印を見ながら、機械の進む方向を確認してください。

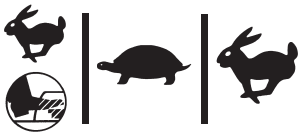
走行速度セレクト



- 傾斜シンボル：傾斜用の低速度のローレンジ運転
- 水平シンボル：最高速度まで走行できるハイレンジ運転

エンジンアイドリング選択 (rpm)

操作パネル上のシンボルで、エンジンアイドリング (rpm) を選択してください。



- ウサギとペダルのシンボル：ペダルスイッチによる高アイドリング開始
- カメシンボル：低アイドリング
- ウサギシンボル：高アイドリング

発電機 (搭載する場合)

発電機を始動するには、発電機トグルスイッチをオンの位置に動かします。

電動工具のプラグを作業台用GFCIコンセントに差し込みます。

発電機を止めるには、発電機トグルスイッチをオフの位置に動かします。

注記： 機械機能は発電機が作動し、ベダルスイッチを踏んでいない間は作動しません。 ペダルスイッチを踏むと、発電機は止まり機械機能が作動します。

作業台過負荷表示ランプ (搭載する場合)



作業台に負荷がかかりすぎている場合にランプが点滅します。機能がなにも作動しません。

ランプが消えるまで、作業台の重量を減らします。

傾斜表示ランプ (搭載する場合)



機械が水平でない場合にランプが点灯します。 このランプが点灯している間、傾斜アラームが鳴ります。 機械を安定した水平な地面に移動してください。

落下防止

本機械を操作する際、落下防止装置 (PFPE) を着用する必要があります。

PFPE は、すべて適合する法規に準拠し、取扱説明書の指示に従って検査され使用されなければいけません。

使用後の注意

1 しっかりとした水平な地面で、障害物や人や車の往来のない、安全な格納場所を選んでください。

2 ブームを収縮し、収納位置まで下げます。

3 ブームが非ステアリングタイヤの間にくるようにターンテーブルを旋回させます。

4 キースイッチをオフの位置に回し、関係者以外による使用をさけるためキーを取り外します。

5 輪止めをかまします。

ステッカー

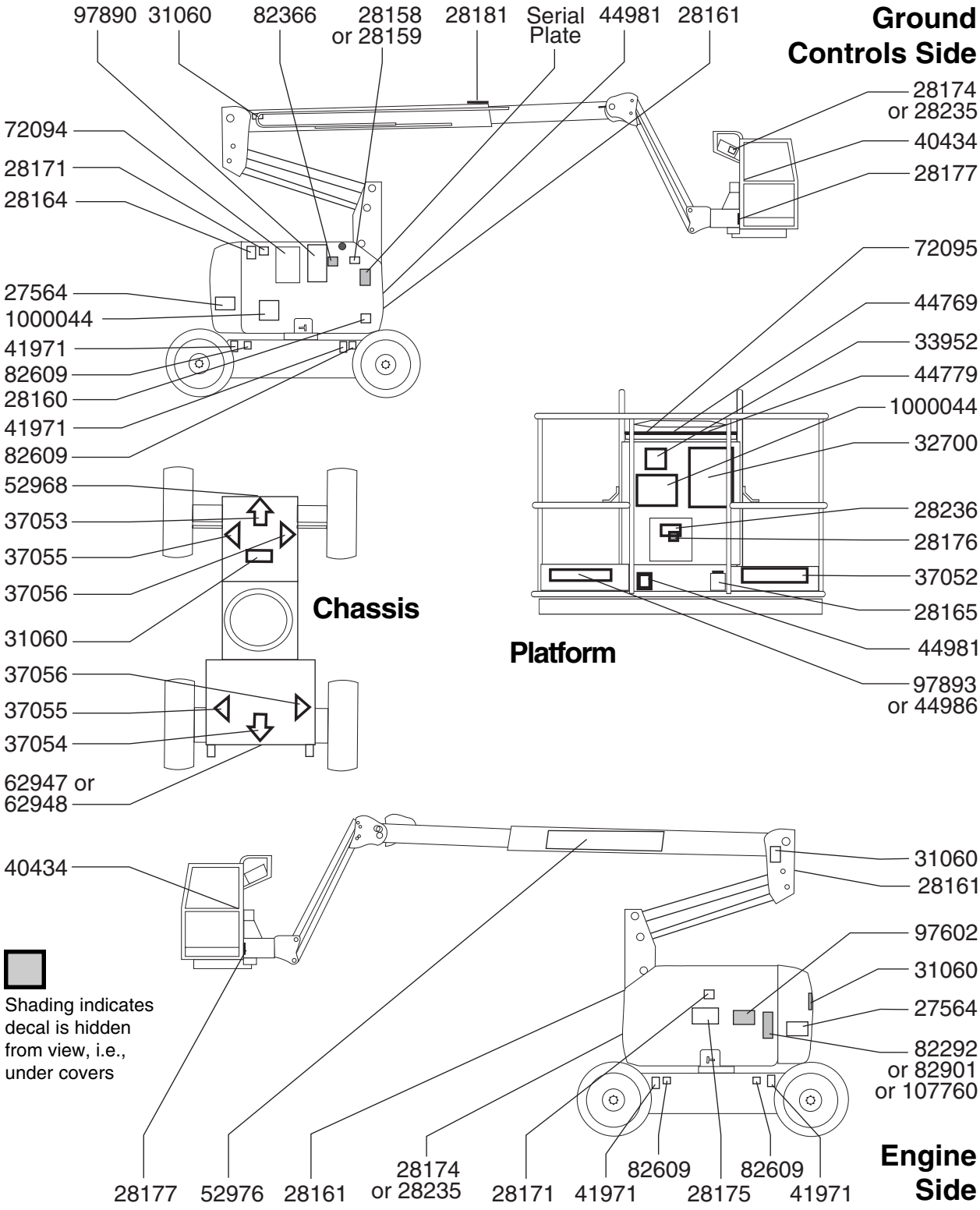
用語のついたステッカーの点検

機械に貼られているステッカーの警告用語やシンボルを確認します。 ステッカーの文字がすべて読める状態で所定の位置に貼られていることを確認してください。

Part No.	Decal Description	Quantity
27564	Danger - Electrocution Hazard	2
28158	Label - Unleaded	1
28159	Label - Diesel	1
28160	Label - LPG	1
28161	Danger - Crushing Hazard	3
28164	Notice - Hazardous Materials	1
28165	Notice - Foot Switch	1
28171	Label - No Smoking	2
28174	Label - Power to Platform, 230V	2
28175	Caution - Compartment Access	1
28176	Notice - Missing Manuals	1
28177	Warning - Platform Rotate	2
28181	Warning - No Step or Ride	1
28235	Label - Power to Platform, 115V	2
28236	Warning - Failure To Read . . .	1
31060	Danger - Tip-over Hazard, Interlock	4
33952	Danger - Tilt-Alarm	1
37052	Notice - Maximum Load, 500 lbs / 227 kg	1
37053	Arrow - Blue	1
37054	Arrow - Yellow	1
37055	Triangle - Blue	2
37056	Triangle - Yellow	2

Part No.	Decal Description	Quantity
40434	Label - Lanyard Anchorage	2
41971	Notice - Tire Pressure	4
44779	Notice - Generator (option)	1
44981	Label - Air Line to Platform	2
44986	Notice - Max Manual Force, 90 lbs / 400 N	1
52968	Cosmetic - Genie Boom	1
52976	Cosmetic - Genie Z-32/22	1
62947	Cosmetic - IC Power 4 x 2	1
62948	Cosmetic - IC Power 4 x 4	1
72094	Ground Control Panel	1
72095	Platform Control Panel	1
82292	Notice - Kubota DF-750 Engine Specs	1
82366	Label - Chevron Rykon	1
82609	Label - Wheel Load	4
82901	Notice - Perkins Diesel Engine Specs	1
97602	Warning - Explosion Hazard	1
97890	Danger - Safety Rules	2
97893	Notice - Max Side Force, 150 lbs / 667 N	1
107760	Notice - Kubota Diesel Tier II Engine Specs	1
1000044	Notice - Operating Instructions	2

DECALS


97890
31060
82366
28158
or 28159
28181
Serial Plate
44981
28161
Ground Controls Side
72094
28171
28164
27564
1000044
41971
82609
28160
41971
82609
28174
or 28235
40434
28177
72095
44769
33952
44779
1000044
32700
28236
28176
37052
28165
44981
97893
or 44986
Platform
52968
37053
37055
37056
31060
37056
37055
37054
62947 or
62948
Chassis
40434
31060
28161
97602
31060
27564
82292
or 82901
or 107760
28177
52976
28161
28174
or 28235
28171
41971
82609
28175
82609
41971
Engine Side
Shading indicates decal is hidden from view, i.e., under covers

ステッカー

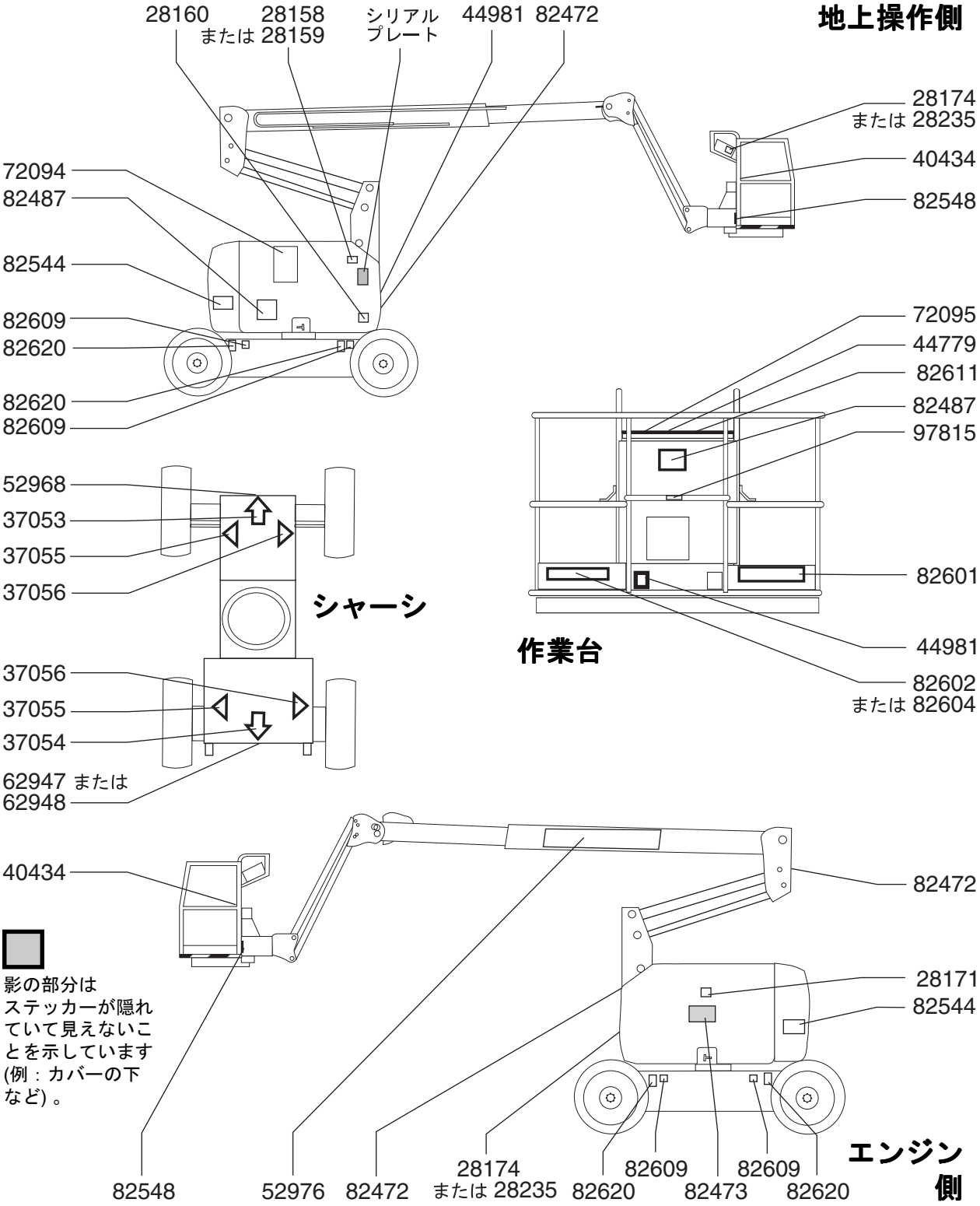
シンボルのついたステッカーの点検

機械に貼られているステッカーの警告用語やシンボルを確認します。 ステッカーの文字がすべて読める状態で所定の位置に貼られていることを確認してください。

品番	ステッカーの説明	数量
28158	ラベル - 無鉛	1
28159	ラベル - ディーゼル	1
28160	ラベル - LPG	1
28171	ラベル - 禁煙	2
28174	ラベル - 作業台への電力、 230V	2
28235	ラベル - 作業台への電力、115V	2
37053	矢印 - 青	1
37054	矢印 - 黄	1
37055	三角 - 青	2
37056	三角 - 黄	2
40434	ラベル - 安全帯固定箇所	2
44779	ラベル - 発電機 (オプション)	1
44981	ラベル - 作業台への空気管	2
52968	外装 - Genie ブーム	1
52976	外装 - Genie Z-32/22	1
62947	外装 - IC Power 4 x 2	1
62948	外装 - IC Power 4 x 4	1

品番	ステッカーの説明	数量
72094	地上操作パネル	1
72095	作業台操作パネル	1
82472	警告 - 手のケガの危険	3
82473	要注意 - コンパートメントへのアクセス	1
82487	ラベル - 操作手順	2
82544	危険 - 感電の危険	2
82548	警告 - 作業台回転	2
82601	危険 - 最大積載量、227 kg	1
82602	危険 - 最大外圧、667 N	1
82604	危険 - 最大外圧、400 N	1
82609	ラベル - 輪荷重	4
82611	ラベル - 走行機能パッチ	1
82620	ラベル - タイヤ空気圧	4
97815	ラベル - 中間レール	1

ステッカー


地上操作側
28160
28158
または 28159
シリアル
プレート
44981
82472
28174
または 28235
40434
82548
72094
82487
82544
82609
82620
82620
82609
72095
44779
82611
82487
97815
82601
44981
82602
または 82604
作業台
52968
37053
37055
37056
シャーシ
37056
37055
37054
62947 または
62948
40434
82472
28171
82544
影の部分は
ステッカーが隠れ
ていて見えないこ
とを示しています
(例：カバーの下
など)。
82548
52976
82472
28174
または 28235
82620
82609
82473
82609
82620
エンジン
側

輸送およびリフトの手順

必ず従うこと：

☑ 輸送車両は水平な地面に駐車します。

☑ 機械を載せる際は、動かないよう輸送車両を固定します。

☑ 車両の積載荷重量、積載面、チェーンやストラップが、機械の重量に十分に耐えうるものであることを確認してください。 機械の重量についてはシリアルプレートをご覧ください。

☑ ブレーキを解除する場合は、必ず機械を水平な地面に止めてから、もしくは固定してから行います。

☑ 機械の定格勾配を超える傾斜や横傾斜では、機械を走行しないでください。 操作手順の「傾斜面における走行」のセクションを参照してください。

☑ 輸送車両の荷台の傾斜が最大定格勾配を越える場合、機械の積み下ろしの際には指示どおりにウィンチを使用する必要があります。

ウィンチ用のフリーホイール構成

1 機械が動かないよう輪止めをかまします。

2 トルクハブ取外しキャップを反して、非ステアリングタイヤブレーキを解除します。 (下記を参照してください。)

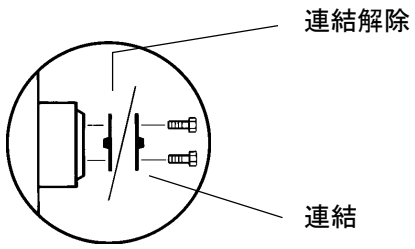
3 シャーシの荷締め個所にウィンチラインがしっかりと固定され、軌道に障害物が無いことを確認します。

機械を載せた後：

1 機械が動かないよう輪止めをかまします。

2 トルクハブ取外しキャップを反して、非ステアリングタイヤブレーキを使用します。 (下記を参照してください。)

Genie Z-32/22 の牽引は推奨されていません。
牽引しなければならない場合は、 時速 3.2 km を越えないでください。



輸送用トラックあるいはトレーラーへの固定

輸送する場合は必ず前もって機械に輪止めをかましてください。

輸送の前にキースイッチをオフの位置に回し、キーを取り外してください。

緩んでいたり、固定されていない箇所がないか、機械全体を点検します。

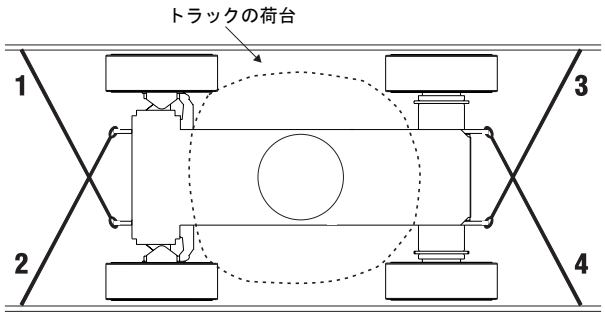
シャーシの固定

シャーシの荷締め位置を使って輸送車両へ固定してください。

チェーンやストラップは、積載荷重量に十分耐えうるものを使用してください。

最低 4 組のチェーンを使用してください。

チェーンの損傷を防ぐため、リギンクを調節してください。

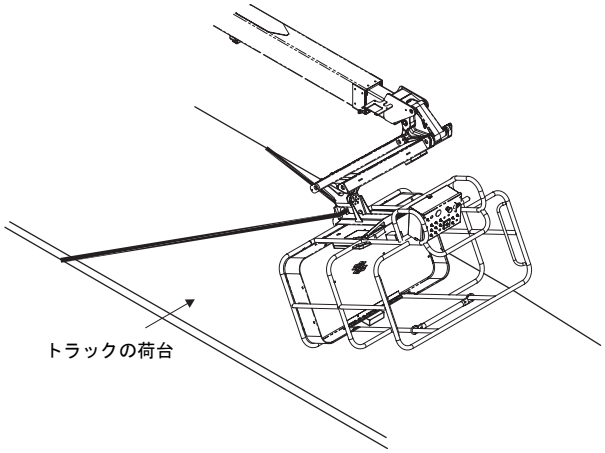


作業台の固定

ジブと作業台が収納した状態であることを確認します。

作業台出入口下の作業台端の下にブロックを置きます。

作業台回転位置付近の作業台マウントにナイロンストラップを掛けて、作業台を固定してください (下図を参照)。 ブームを固定するときは、下方へ過度に力を加えないでください。



輸送およびリフトの手順

必ず従うこと：

- ☑ 認定されているリガーを使用して、リギングおよびリフトを行ってください。
- ☑ クレーンの積載荷重量、積載面、ストラップやロープが機械の重量に十分に耐えうることを確認してください。 機械の重量についてはシリアルプレートをご覧ください。

リフトの手順

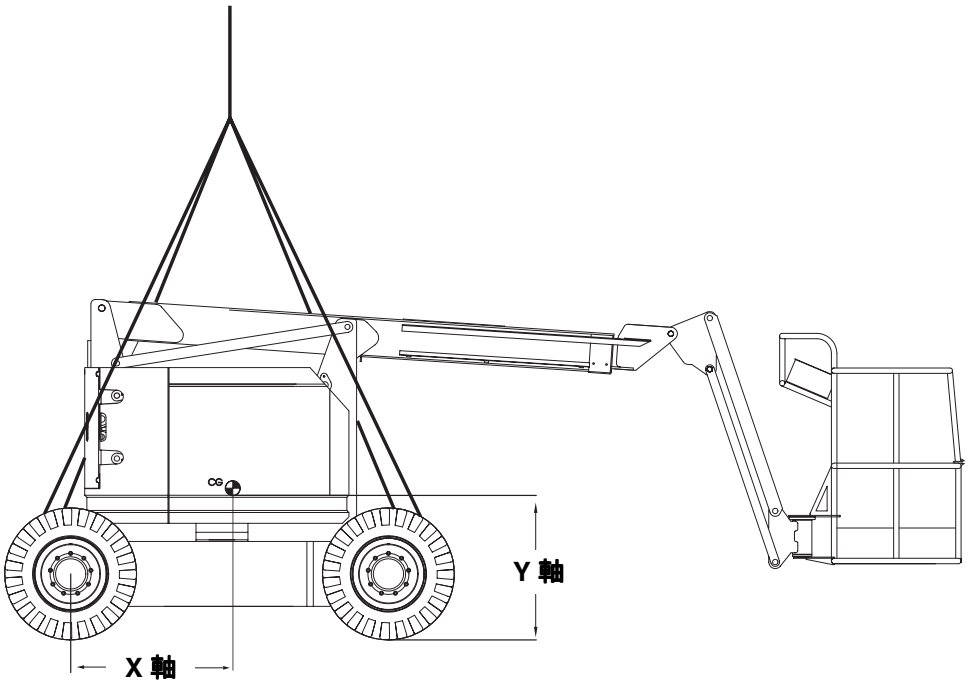
ブームを完全に下げて収縮します。 ジブを完全に下げます。 機械に緩んでいる個所がないことを確認してください。

このページの表と図を参考にして、機械の重心を確認してください。

機械の指定の吊り上げ点にのみリギングを取り付けます。 シャーシには、吊り上げ点が 4箇所あります。

機械が損傷しないよう、また、機械の水平状態を保てるよう、リギングを調節してください。

X 軸	91.3 cm
Y 軸	84.7 cm



仕様

Z-32/22 2WD 工業用	
高さ、操作時最大	11.5 m
高さ、作業台最大	9.7 m
高さ、収納時最大	2 m
水平リーチ最大長さ	6.8 m
幅	1.7 m
奥行き、作業台収納時	5.6 m
最大積載荷重	227 kg
最大風速	秒速12.5 m
ホイールベース	1.9 m
旋回半径 (外径)	4 m
旋回半径 (内径)	1.8 m
地上クリアランス	15 cm
ターンテーブル回転 (度)	355°
ターンテーブルによる後方車体の揺れ	0
作業台水準化	自己水準化
作業台回転 (度)	180°
制御	12V DC 比例
作業台寸法、 (長さ x 幅)	1.4 m x 76 cm
電源	クボタ G/LPG 24.5 hp または、クボタ ディーゼル 26 hp
燃料タンク容量	35.2 リットル
作業台 AC コンセント	標準
油圧, 最大 (ブーム機能)	220.7 バール
システム電圧	12V
タイヤサイズ 工業用 ハイフロテーション	 9-14.5 31 x 15.5

重量 (機械の重量は、オプション構成により異なります。)	シリアルプレートを参照
騒音 標準的な作業場での最大音量 (A特性騒音レベル)	80 dB

走行速度 (最高)	
ブーム収納時	時速 6.4 km 12.2 m/6.8 秒
ブーム 上昇または伸長時	時速 1.0 km 12.2 m/40 秒

最大定格勾配、収納状態、2WD		
カウンターウェイト 上り勾配	37%	20°
カウンターウェイト 下り勾配	20%	11°
横勾配	25%	14°

注記：定格勾配は、地面の状態とトラクションにより異なります。

床荷重表	
最大輪荷重	2,177 kg
タイヤ接地圧 (タイヤごと)	7.03 kg/cm^2 689 kPa
車体使用面積当りの圧力	10.93 kPa 1,115 kg/m^2

注記： 床荷重表は概算値であり、オプションによる構成の違いを考慮したものではありません。 安全上の要素を考慮して使用してください。

Genie では製品の改良を重ねていくことを方針としています。 製品の仕様は予告なく変更することがあります。

仕様

Z-32/22 2WD および 4WD RT	
高さ、操作時最大	11.5 m
高さ、作業台最大	9.7 m
高さ、収納時最大	2 m
水平リーチ最大長さ	6.8 m
幅	1.8 m
奥行き、作業台収納時	5.7 m
最大積載荷重	227 kg
最大風速	秒速12.5 m
ホイールベース	1.9 m
旋回半径 (外径)	4.1 m
旋回半径 (内径)	1.8 m
地上クリアランス	16.5 cm
ターンテーブル回転 (度)	355°
ターンテーブルによる後方車体の揺れ	0
作業台水準化	自己水準化
作業台回転 (度)	180°
制御	12V DC 比例
作業台寸法、 (長さ x 幅)	1.4 m x 76 cm
電源	クボタ G/LPG 24.5 hp または、クボタ ディーゼル 26 hp
燃料タンク容量	35.2 リットル
作業台 AC コンセント	標準
油圧、最大 (ブーム機能)	220.7 バール
システム電圧	12V
タイヤサイズ 不整地用 ハイフロテーション	 10-16.5NHS 31 x 15.5

重量 (機械の重量は、オプション構成により異なります。)	シリアルプレートを参照
騒音 標準的な作業場での最大音量 (A特性騒音レベル)	80 dB

走行速度,最高	
ブーム収納時	時速 5.6 km 12.2 m/7.8 秒
ブーム 上昇または伸長時 2WD & 4WD モデル	 時速 1.0 km 12.2 m/40 秒

最大定格勾配、収納状態、4WD		
カウンターウェイト 上り勾配	45%	24°
カウンターウェイト 下り勾配	40%	22°
横勾配	25%	14°

注記： 定格勾配は、地面の状態とトラクションにより異なります。

床荷重表	
最大輪荷重	2,177 kg
タイヤ接地圧 (タイヤごと)	3.16 kg/cm^2 310 kPa
車体使用面積当りの圧力	10.82 kPa 1,102 kg/m^2

注記： 床荷重表は概算値であり、オプションによる構成の違いを考慮したものではありません。 安全上の要素を考慮して使用してください。

仕様

動作範囲

